

【質問】新しい胃がん検診について教えてください。
(50歳 自営業男性)

新しい胃がん検診

【回答】がん検診の目的

は、がんを早期に発見し、
がんで亡くなる人を減らす
ことです。今まで、胃がん
検診はバリウムを用いた胃

部エックス線検査で行って
いましたが、近年の国内外
の複数の臨床研究で「胃内
視鏡検査は胃がんによる死
亡率を減少させる効果があ
る」との結果が出ました。
厚生労働省はがん検診の在
り方に関する検討会を行い、
今年2月「がん予防重点健
康教育及びがん検診実施の



するものとする▽対象者は
50歳以上。エックス線
検査は当分の間40歳以

内視鏡検査も可能に

ための指針」を一部改正し
ました。胃がん検診に関し
て改定された部分は以下の
内容です。

▽検診項目を問診と、
エックス線または内視鏡検
査のいずれかとする▽市町
村は、両検査を併せて提供
しても差し支えないが、受
診者はいずれか一方を選択

受けやすく、しかも安全に
受けることが絶対条件です。
以前から多くの医師は「内
視鏡検査の方が早期がんの
発見率が高い」と考えてい
ました。しかし「エックス
線検査に比べ検査できる施
設や医師の数が不足」「集
団検診が行いにくい」「費

死亡率の低下 証明される

上が対象で差し支えない▽
原則として同じ人に2年に
1回行うが、当分の間エッ
クス線検査は年1回でも差
し支えない。

内視鏡検査による胃がん
検診の実施は自治体により
異なりますので確認してく
ださい。
がん検診は、多くの人が

より、検査を楽で安全に受
けられるようになった点も
大きな理由だと考えます。
指針の中には検診項目と
は別に、ヘリコバクター・
ピロリ菌感染についても追
記されました。早期発見の
ため、血液検査による胃粘
膜の萎縮度を調べるペプシ
ノゲン比と、ピロリ菌抗体
検査を組み合わせた「胃が
んリスク検診」も推奨され
ています。胃がんになりや
すい人を抽出して内視鏡検
査を行うことで、より効果
的に早期胃がんの発見に役
立てようとするものです。
自治体によってはピロリ
菌抗体検査を検診項目に採
用しているとところもありま
す。検診の際に気にかけて
みてください。
(県医師会)

用が高い」「苦痛が強く検
査に伴う併発症の危険度が
高い」などが問題である
と言われていました。
内視鏡検査が検診として
認められた背景には、死亡
率の低下が証明されたこと
があります。検査できる施
設が増えたことや、細経内
視鏡や経鼻内視鏡の出現に

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問
にお答えします。質問希望の方は知りたい
内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎
新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点
をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を
明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。